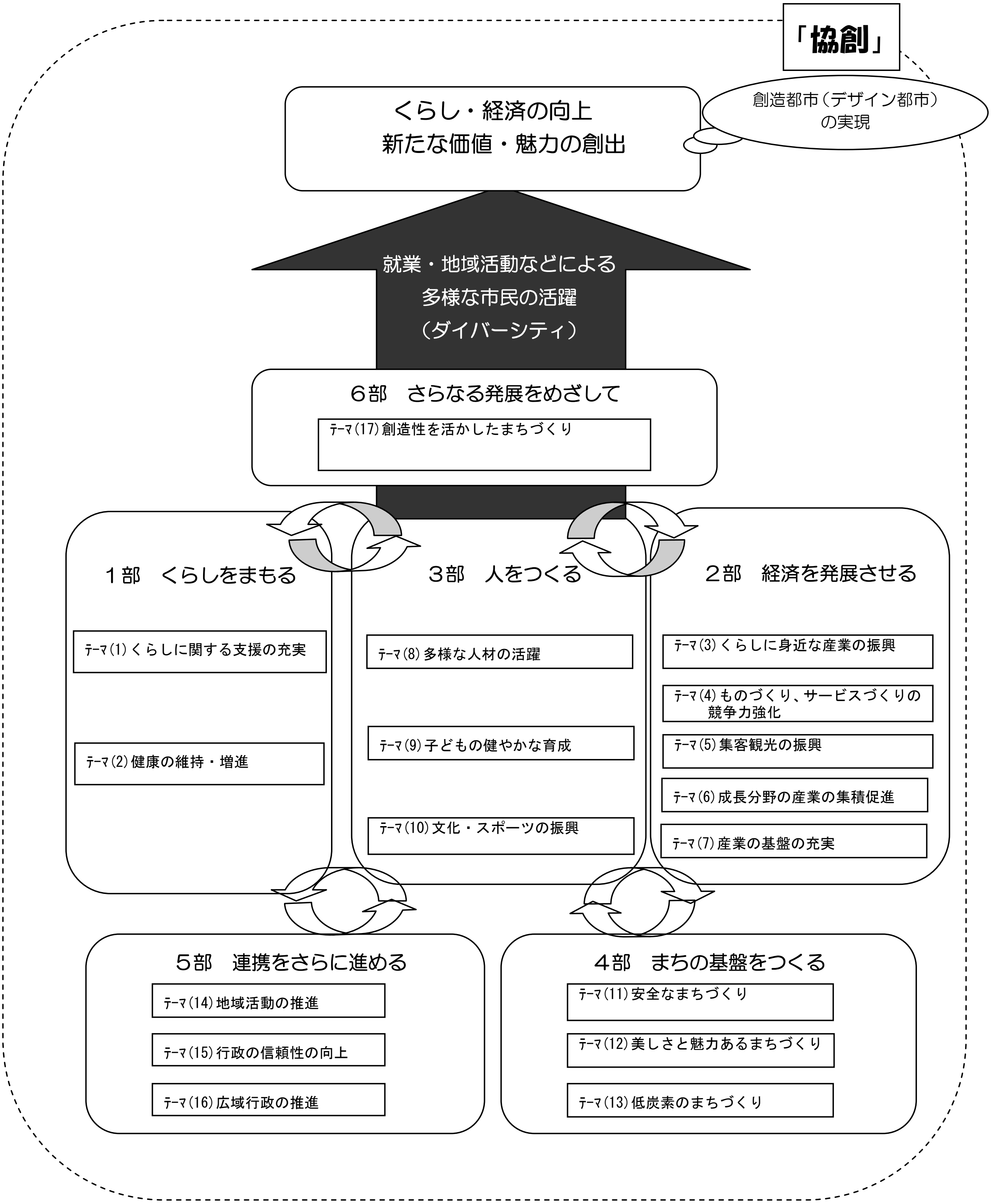
神戸市総合基本計画審議会
第2回重点施策計画検討部会 資料4
平成22年7月2日

重点施策計画の全体構成・事業項目について（たたき台）



１　くらしをまもる

テーマ(1) くらしに関する支援の充実

【趣旨】

・様々な支援制度の窓口、制度や仕組みがありながら、複合化した問題を抱える市民がサービスにアクセスできないなど、機能低下やひずみが指摘されており、市民のニーズをしっかり受け止め、幅広い対応が可能となる仕組みづくりを進める必要がある。

・高齢化の進行に対応して、NPO やボランティア、地域社会との連携による支え合いの仕組みや権利擁護の仕組みを一層充実する必要がある。

・生活保護をはじめとする貧困状態の世帯が急増しており、自立のための受け皿対策や住宅困窮者の居住の安定等も含め、生活困窮に陥らないための総合的な自立支援対策が必要である。

・こうした課題を踏まえ、高齢・障害・貧困などいかなる状況においても、必要に応じて支援を受けつつ自分らしく生きがいをもってくらせる社会をめざす。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①福祉サービスの相談などの総合化	・市民の複合化した福祉ニーズを受け止めて幅広い対応を可能とするしくみ（相談のワンストップ、多機能化等） ・生活面と就労面の一体的支援を図るための障害者相談窓口の一元化
②新たなつながりによる支え合いの推進	・NPO や社会的企業などの新たなつながりによる支え合い ・「ちょっとボランティア運動」の推進
③安心できる地域生活の実現	・施設や病院から地域生活への移行支援 ・地域との協働による見守りシステムの充実 ・一人ぐらし高齢者等の権利擁護事業の拡充
④生活困窮者のためのセーフティネットと自立支援対策	・円滑な相談 ・地域での見守り・支えあい ・施策連携の仕組みづくり（健康対策、生活福祉資金、就業・就学に向けた援助、スキル向上の支援、住宅対策等） ・住宅セーフティネット（居住の安定）の確保
⑤消費者問題への対応強化	・消費生活マスターの活動支援 ・相談機能の充実

テーマ(2) 健康の維持・増進

【趣旨】

・高齢化が進む中、市民の健康寿命を伸ばして生活の質の向上を実現する上で、市民一人ひとりが主体的に健康を維持・増進させるための様々な取り組みを推進していく必要がある。

・本市の救急医療体制については、軽症患者による救急医療機関の利用や、全国的課題である医師不足等の影響により、崩壊の危険があり、持続可能な救急医療体制の構築が急がれる。

・新型インフルエンザの教訓を活かし、新たな感染症の発生などの健康危機に適切に対応する体制の整備が課題である。

・本市における自殺者については、全国と同様、平成10年に急増し、以降高止まりの状態であるため、医療・社会両面により総合的に自殺対策に取り組む必要がある。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①市民が主体的に健康づくりに取り組める環境づくり	・健康診査やがんなどの各種検診の受診率の向上 ・食育の推進 ・口腔保健の推進 ・受動喫煙防止対策の推進 ・医療産業都市構想の成果を活かした「健康を楽しむまちづくり」の推進（生活習慣病予防や介護予防などへの科学的知見の活用）
②救急医療体制の整備・構築	・初期救急医療体制の構築（休日急病電話相談、急病診療所、休日歯科診療所、神戸こども初期急病センター） ・持続可能な二次救急医療体制及び三次医療体制の構築
③健康危機管理体制の充実	・新型インフルエンザ等対策神戸モデルの構築
④自殺対策の推進	・自殺対策基本計画（仮称）の推進 ・啓発、相談対応等の充実 ・神戸Ｇ－Ｐネットワーク（かかりつけ医と精神科医の連携）の構築

２　経済を発展させる

テーマ(3) くらしに身近な産業の振興

【趣旨】

・地域における雇用を確保し、経済の地域内循環による地域社会の活性化を実現するうえで、くらしに身近な産業の振興が欠かせない。

・神戸の農水産業は農水産物価格の低迷や担い手不足等の課題を抱えており、地産地消の推進をはじめとする今後の活性化のためには、ブランド力による付加価値の向上や農業以外の産業とも連携した販路開拓や産地からの情報発信が課題である。

・商業は国内消費の低迷や消費構造の変化に直面しており、商店街や小売市場では地域特性や地域ニーズを取り込んだ特色ある取り組みが一層求められる。

・また地域経済活性化や地域福祉等の新たな公共分野の担い手として、「社会的企業」の存在が注目されており、その育成は重要な課題である。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①農水産業の活性化	・地産地消（産地情報の発信、多様な販売チャンネルの確立、企業との連携）の推進 ・後継者や企業などの農漁業を支える担い手の育成・創出
②商店街・小売市場の活性化	・個店の魅力発掘による商店街レベルアップ支援（「知っ得！買っ得！」事業による魅力発信等） ・集客観光やまちづくりと一体化した都市型商業の魅力向上 ・地域住民ニーズ対応型サービスへの支援（高齢者単身世帯への宅配サービス等）
③新たな公共分野を担う社会的企業の育成	・「神戸ソーシャルビジネス円卓会議」での検討を活かした、人材育成や財政基盤の強化など、社会的企業が活躍できる環境の整備

テーマ(4) ものづくり、サービスづくりの競争力強化

【趣旨】

・国内需要の低迷や国際競争の激化により、神戸の中小企業にとっても品質だけなく市場に向けてどのような戦略を採るのかが重要になっている。これからも神戸の産業の基盤をまもり、市民の雇用の場を確保していくためには、「技術で勝って、事業でも勝つこと」が必要であり、中小企業の経営力の向上や海外も視野に入れた販路開拓とさらなる技術力向上や優れたデザインの活用が欠かせない。

・また、神戸の経済を将来に向けてさらに発展させていくためには、新分野への積極的な挑戦をこれまで以上に後押ししていく必要がある。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①経営力向上・販路拡大支援	・専門家派遣やセミナー開催、ICT 導入支援等による中小企業の経営力強化 ・大企業と市内中小企業のビジネスマッチングの促進 ・デザインとブランド力を活かした付加価値の向上と発信 ・アジアなど海外市場に向けた販路拡大の促進
②人材育成・技術向上支援	・教育と産業の連携による人材育成 ・大企業や大学の人材・技術の活用による技術力向上 ・ロボット技術の活用推進 ・次世代スーパーコンピュータの利活用に取り組む事業者への支援
③新たな分野への挑戦支援	・KOBE ドリームキャッチプロジェクトの拡充や創業資金融資による起業・第二創業支援

テーマ(5) 集客観光の振興

【趣旨】

・多様で深化した観光ニーズに応えるため、何度訪れても楽しめ、学びがあるよう、神戸の自然やライフスタイルが作り出した神戸のオンリーワンの観光資源に多彩さを加える必要がある。
　また、中国をはじめとする訪日観光客の神戸への訪問率の向上をめざし国に応じたＩＣＴ活用などインフラを整えるほか、経済効果の高いＭＩＣＥ※の誘致など、都市の集客機能を活かした滞在型観光を戦略的に推進する。

・さらに、近年経済成長が著しいアジア諸都市を中心に交流効果を重視した都市提携の推進や、特定のテーマの下での新たな都市間ネットワークの構築や人材組織を活用した交流を推進していく必要がある。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①オンリーワンの観光資源の魅力向上	・自然と眺望を活かした六甲摩耶有馬の魅力向上 ・ウォーターフロントの活用と都市型観光の魅力向上による集客力の向上 ・瀬戸内クルーズの母港化など国内外の客船誘致
②魅力発信の強化とおもてなしの充実	・人的ネットワークやICTなどを活用し、多様なニーズに対応した効果的な情報発信 ・観光案内所の機能強化など観光案内機能の充実
③戦略的な観光客誘致	・MICE 誘致プログラムの開発や重点地域を設定した国際観光の推進
④海外都市間交流の発展・強化	・提携都市間での多都市間交流の推進・神戸ゆかりの人材組織の活用による神戸プロモーションの展開

※MICE（マイス）
企業等の会議（Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention)、イベント、展示会・見本市（Event/Exhibition）の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

テーマ(6) 成長分野の産業の集積促進

【趣旨】
・先進国における高齢化、環境・エネルギー制約は、世界的な課題である一方、ビジネスチャンスでもある。
・日本最大のバイオメディカルクラスターである医療産業都市構想と国家機関技術である次世代スーパーコンピュータを活用し、企業や大学・研究所が集積することで、人材が集積・交流し、イノベーションの連鎖を生み出す「知の創造拠点」づくりを進める。
・また、低炭素社会に貢献するインフラ整備やエネルギー関連分野（神戸の得意分野である鉄道車両や原子力発電関連機器、高効率発電設備、造船や、再生可能エネルギーなどの新技術）の集積を強化する。
・アニメーションをはじめとしたコンテンツは「クールジャパン」と呼ばれ、世界から注目される貴重な資源であり、神戸は全国に先駆けデジタルコンテンツの振興に取り組んできていることから、コンテンツ産業の振興・集積を進めていく。
・これら成長産業の市内への集積により、神戸の強みを活かした特色ある経済発展を目指し、市民の雇用の場を確保する。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①医療・スパコン関連企業の集積促進	・効果的な優遇制度（助成金等）や、特区制度の活用による減税等のインセンティブの導入検討 ・進出企業に対するワンストップサービスの提供などの定着支援の充実
②低炭素社会に貢献するインフラ整備・エネルギー関連分野企業の集積促進	・効果的な優遇制度（助成金等）や、特区制度の活用による減税等のインセンティブの導入検討 ・低炭素貢献分野での事業拡大と取引の活性化支援
③コンテンツ産業の集積促進	・アニメーション神戸を活用するとともにアニタス神戸との連携によるアニメーション産業の振興・集積 ・映像産業の振興・集積 ・コンテンツ産業に対する優遇制度の創設検討

テーマ(7) 産業の基盤の充実

【趣旨】

・神戸の産業が活性化して、雇用の場を創出し市民のくらしを守るためには、その活動の基盤となる道路、港、空港などを一層充実させる必要がある。

・特に、神戸ひいては西日本経済の競争力強化をはかるためにも、釜山港等へのフィーダー貨物を奪還するとともに、釜山港等に伍するサービスを提供することを目的とした「阪神港国際コンテナ港湾」の実現をめざす。

・また、神戸空港においては、関西３空港の一体運用、それに至るまでの先行的な機能充実・規制緩和により、利用者の利便性の立場から、空港の能力の最大限の活用をめざす。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①阪神港（国際コンテナ戦略港湾）の機能強化	・神戸港・大阪港の両埠頭公社の民営化、経営統合の推進 ・定期内航フィーダー網の再構築や、公設民営化の推進、一体運営によるコスト低減等を通じた集荷促進 ・特区活用による物流企業の集積促進
②神戸空港の機能強化	・路線ネットワークの充実 ・機能充実や規制緩和（運用時間の延長、発着枠の拡大、国際チャーター便運航規制の緩和、国際便の利用促進のためのＣＩＱ体制の充実)
③広域幹線道路及び市内幹線道路のネットワークの構築	・計画路線（大阪湾岸道路西伸部）の事業化 ・事業中路線（国道 175 号、有馬山口線等）の整備促進
④利用者が利用しやすい料金体系の構築	・阪神高速道路の対距離料金制導入に際しての新神戸トンネルの阪神高速道路ネットワークへの編入 ・有料道路の料金体系の一元化

３　人をつくる

テーマ(8) 多様な人材の活躍

【趣旨】

・生産年齢人口の減少、経済のグローバル化などにより、所得水準の低い世帯の割合が増加しており、くらしの不安が増大する恐れがある。社会の活力を維持していくため、あらゆる分野での経験、能力、知見を発揮し、「すべての人が持てる能力を発揮して全員参加できる社会」をつくる必要がある。

・そのための基盤となるユニバーサルデザイン（UD）の意識づくりや、働くことを通じた社会参加などにより、女性、高齢者、障害者、外国人など幅広い人材が活躍する多様で柔軟な生き方を選択できる環境を整える必要がある。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①ユニバーサルデザイン（UD）の推進	・地元団体との連携事業の実施 ・歩道・公園・交通・建築等の UD 化推進
②就業環境の向上	・公共職業安定所と福祉事務所の連携による就業情報提供の充実 ・地元企業の合同面接会や職場体験などによる地元の就業環境の向上
③男女共同参画の推進	・ワーク・ライフ・バランスの推進（多様な働き方を可能にする社会の実現、女性の活躍推進） ・女性に対するあらゆる暴力の根絶
④若年者の社会的自立の支援	・ニート、ひきこもり対応等の就労支援 ・活動拠点整備等の自立・自己実現の支援
⑤高年齢者の社会活動の支援	・ソーシャルアクション支援プログラム
⑥障害者就労支援の充実	・一般就労の推進 ・福祉的就労の充実 ・職場適応・職場定着支援の強化、働く障害者への生活面の支援
⑦外国人が活躍しやすいまちづくり	・多文化共生のまちづくり ・留学生支援策の充実

テーマ（9）子どもの健やかな育成

【趣旨】

・子どもは社会にとって最大の財産であり、少子化の傾向が続く中にあって今後も神戸がまちの活力を維持し、一層発展していくにも、明日の神戸を担う子どもたちを社会全体で健やかに育てていくことが極めて重要である。

・また子どもを安心して生み育てることができる環境を整えることは、働き盛りの親世代にとって社会で活躍しやすい、魅力あるまちづくりにつながる。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①妊娠・出産・育児への支援	・不安の解消（相談窓口の充実、新生児訪問指導、つどいの広場事業等） ・母子の健康の保持増進（妊婦健康診査の充実、乳幼児健康診査の充実等）
②家庭・地域・学校の連携による豊かなこころの育成	・次世代のこどもを育む市民会議 ・人間関係力向上プログラム ・命を大切にする教育 ・読書環境の向上 ・「あいさつ・手伝い運動」
③保育の充実	・待機児童の解消に向けた保育所整備の推進（保育所新設等による定員増加） ・多様な保育サービスの充実（延長保育、一時保育、病児・病後児保育等） ・学童保育の充実等
④学校教育の充実	・確かな学力と意欲の向上（授業改善、新教材の開発、家庭教育支援等） ・健康・体力の増進（生活習慣の改善、食育・健康教育の推進等） ・特色ある教育の推進（防災教育、環境教育、地域学習、キャリア教育、福祉教育、情報教育等） ・教職員の人材育成や指導力向上支援（教員 OB による若手教員指導等）
⑤障害のある子どもへの療育・教育の充実	・発達障害児への支援体制の強化 ・複数の障害に対応できる特別支援学校の整備 ・「特別支援学校版分かる授業」の推進 ・「学びの支援センター」を中心とした通級指導教室、特別支援学校の連携
⑥子どもの安全の確保	・学校施設の耐震化 ・「子ども見守り活動隊」の活動推進 ・青少年の見守り活動
⑦児童虐待防止対策の充実	・関係機関の連携（発生予防、早期発見・早期対応、保護、家族の再統合） ・市民への啓発 ・児童養護施設での心理的・個別ケア、保護者へのカウンセリング

テーマ（10）文化・スポーツの振興

【趣旨】
・文化芸術やスポーツは都市のアイデンティティやブランド性を高め、まちの活性化につながるなど、都市の魅力や活力を支える基盤の一つとしての役割がますます大きくなってきている。
・市民や芸術家、それを支える NPO 等の交流が活性化し、市民が神戸でくらしている豊かさを実感しながら個性ある生活スタイルを主体的に創造するとともに、生き生きとしたまちの賑わいや活力を次々と生み出す「神戸文化創生都市」の実現をめざす。
・また国際的スポーツイベントの開催等を契機に、スポーツへの市民の関心を高め、まちの活性化や健康づくりにつなげていく必要がある。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①文化芸術を活かしたまちづくりの推進	・新たな文化芸術活動の創出支援 ・まちの活性化につながる文化芸術活動の創出支援 ・文化芸術コンペティションを通じた人材発掘や活躍の場づくりの充実 ・新進芸術家等に対する活動支援 ・神戸ビエンナーレの充実（アートによるまちの資源の再認識・再創造）
②「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興	・ひょうご・神戸マラソン（仮称）やアジア陸上などのスポーツイベント ・神戸総合型地域スポーツクラブの充実

４　まちの基盤をつくる

テーマ(11) 安全なまちづくり

【趣旨】

・橋梁の大量更新期を迎え、また上下水道施設や公園施設などの膨大な施設についても限られた予算で効果的・効率的に修繕や改築更新を行っていくなど、戦略的維持管理が必要不可欠となっている。あわせて災害時に交通網・ライフラインの寸断や水の確保への支障が生じないよう対策を講じる必要がある。

・阪神・淡路大震災の直接的な犠牲者のうち、住宅・建築物の倒壊等によって亡くなられた方が約 8 割を占めることが明らかになっており、住宅・建築物の耐震化が緊急の課題である。

・特に密集市街地は古い木造住宅が密集し、生活道路が狭く、公園も不足しており、防災面や住環境など様々な課題を抱えている。

・東南海・南海地震をはじめ、今後起こりうる災害等の危機に備えて、危機管理の中枢機能の集約や、情報システムの機能向上等を図る必要がある。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①公共施設（橋梁・公園・上下水道等）のアセットマネジメントの推進	・橋梁長寿命化修繕計画・公園施設長寿命化計画の実施 ・上下水道施設の改築更新及び長寿命化計画の実施
②公共施設やライフライン、住まい等の耐震化の推進	・橋梁の耐震化による緊急輸送道路ネットワークの構築 ・上下水道の総合地震対策の実施 ・すまいの耐震化施策の推進
③安全な水の安定的な供給	・災害時の水の確保（応急給水拠点や大容量送水管の整備） ・水質管理の強化（HACCP の活用）
④密集市街地の再生	・建物の不燃化・耐震化の促進 ・身近な生活道路の拡幅整備 ・空き地や空き家の有効活用
⑤都市の浸水対策	・重点地区の浸水解消 ・雨水流出抑制施策の推進 ・内水ハザードマップの作成・公表
⑥防災機能の強化	・危機管理センターの構築 ・新危機管理情報システムや消防新管制システムの整備、防災行政無線のデジタル化による危機管理機能の強化 ・消防力の高度化・専門化・ICT 活用 ・救急ニーズの増大・高度化への対応
⑦地域の防災力の強化	・防災意識の向上（防災リーダー育成、防災訓練の参加促進、防災教育支援） ・消防団と地域の連携強化
⑧震災教訓の発信	・震災情報の発信、セミナー充実等

テーマ(12) 美しさと魅力あるまちづくり

【趣旨】

・高層建築物の増加や屋外広告物の氾濫など、まちの姿が変わりつつある中で、美しさや潤い、多様な生き物がすむ環境など、魅力あるまちの姿をつくっていく必要がある。

・また兵庫運河～新長田周辺など、それぞれのまちの特性にあった魅力向上策を検討していく必要がある。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①魅力あるまちなみや景観づくり	・眺望景観や夜間景観、農村景観の形成 ・公共空間のデザイン向上 ・歴史的建造物等の地域資源の保全活用 ・屋外広告物のデザインのルールづくり
②水とみどりにあふれるまちづくり	・屋上緑化、壁面緑化、ミスト散布等の推進 ・下水の高度処理の推進、処理水の有効活用の促進 ・持続可能で健全な水循環系の形成を目指した（仮称）水の基本計画の策定・運用
③六甲山の緑の保全育成・活用の推進	・こうべ森の学校の強化 ・ナラ枯れ対策 ・市民・事業者と協働した森林管理の促進（CO_2吸収量の増大等）
④多様な生物がすむ環境づくり	・生物多様性保全モデル事業 ・フィールド拠点の整備 ・市民参加型生物多様性モニタリング事業
⑤兵庫運河～新長田周辺の魅力向上	・地下鉄海岸線沿線プロジェクトの推進 ・兵庫運河、アニタス神戸、鉄人２８号などを活かしたまちづくり、回遊性の向上

テーマ(13) 低炭素のまちづくり

【趣旨】

・地球温暖化や化石燃料枯渇等の地球環境問題に備えて、低炭素社会の構築が急務となっている。

・エネルギーの利用にあたっても、再生可能エネルギーなど、より環境に優しいエネルギーの導入をこれまで以上に進める必要がある。

・環境問題の解決には、市民一人ひとりの取り組みが重要であり、意識啓発や地域での取り組みをいっそう進める必要がある。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①都市構造や交通環境の低炭素化の推進	・利便性の高い地域への商業機能や居住機能等の誘導 ・公共交通の利用促進 ・電気自動車、コミュニティサイクル・自転車走行空間の整備 ・鈴蘭台駅前の整備
②建築物や施設、住まい方等の低炭素化の推進	・民間及び公共建築物の低炭素化 ・省エネ建築物の普及促進 ・省エネ専門家派遣
③エネルギーの有効活用の促進	・太陽光、こうべバイオガス等の未利用・再生可能エネルギーの拡充 ・廃棄物焼却施設の発電の有効活用 ・省エネ設備の積極導入 ・カーボンオフセットの推進 ・スマートグリッドの導入検討
④ 環境にやさしい地域づくりの推進	・エコタウンの全市拡大 ・活動内容の拡充（まちの美化や減量資源化に加え、地球温暖化防止や生物多様性保全に拡大） ・環境教育の推進（学校教育との連携、KOBE 環境大学の充実） ・地域エコポイント制度創設の検討
⑤ ごみの減量･資源化のさらなる推進	・分別の徹底とさらなる減量・資源化の推進 ・廃棄物処理施設の維持管理・整備
＜テーマ(6)より再掲＞ 低炭素社会に貢献するインフラ整備・エネルギー関連分野企業の集積促進	・効果的な優遇制度（助成金等）や、特区制度の活用による減税等のインセンティブの導入 ・低炭素貢献分野での事業拡大と取引の活性化支援

５　連携をさらに進める

テーマ(14) 地域活動の推進

【趣旨】

・世帯規模の縮小や地域の人間関係の希薄化、地域人材の高齢化等が進む中、市民ニーズや地域課題にきめ細かく対応するため、多様な活動主体がゆるやかに連携して総合的・自律的な地域コミュニティづくりに取り組む必要がある。そのためには、それぞれの住民が持てる能力を発揮して、よりよい地域づくりに取り組んでいくことが重要である。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
① 地域支援の充実	・地域活動統合助成金モデル事業の推進 ・パートナーシップ協定締結の推進 ・生涯学習で学んだ成果の地域社会への還元 ・新たな学校施設開放の検討 ・地域人材支援センターの活用
② 地域を応援する体制の強化	・地域担当制の充実強化（各区の特性をふまえたしくみづくり） ・全庁的な協働と参画のまちづくり支援体制の整備

テーマ(15) 行政の信頼性の向上

【趣旨】

・情報化社会の進展や市民の生活様式の多様化等に伴い、広報・広聴のあり方を時代にあった形に発展させていく必要がある。

・市民と市の接点となる窓口サービスにおいて、ホスピタリティのさらなる向上を図る必要がある。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
① ICTを活用した広聴・広報の充実	・コールセンターの開設 ・ネットアンケートの実施 ・市民の声集約活用システムの構築 ・新たな情報発信手段への対応 ・動画・携帯向けコンテンツの充実 ・ユーザビリティ・アクセシビリティの向上
② 窓口サービスの強化	・区民ディレクターの全区配置 ・市民にとってわかりやすい窓口（ワンストップサービス検討など） ・窓口利用機会の拡充（自動交付機整備、コンビニ交付検討など）

テーマ(16) 広域行政の推進

【趣旨】

・市民の生活圏の拡大により、市域を越える行政需要が増加しており、近隣自治体等との連携を強めることで、より効率的な行政運営を目指す必要がある。

・政治・経済の東京一極集中を是正し、グローバル化の進展による国際的都市間競争を勝ち抜くため、関西４政令指定都市が連携を進める必要がある。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①関西４都市の連携	・観光振興、環境保全、地域主権など、連携・協力効果の高い分野におけるさらなる連携の推進
②近隣市町との連携	・多様な行政ニーズへの対応や、効果的な情報発信のための連携関係の強化

６　さらなる発展をめざして

テーマ（17）創造性を活かしたまちづくり

【趣旨】

・これからの都市の発展の鍵を握るのは「創造的人材」活躍であり、「創造的人材」が集い、交わり、活躍するまちをめざす必要がある。

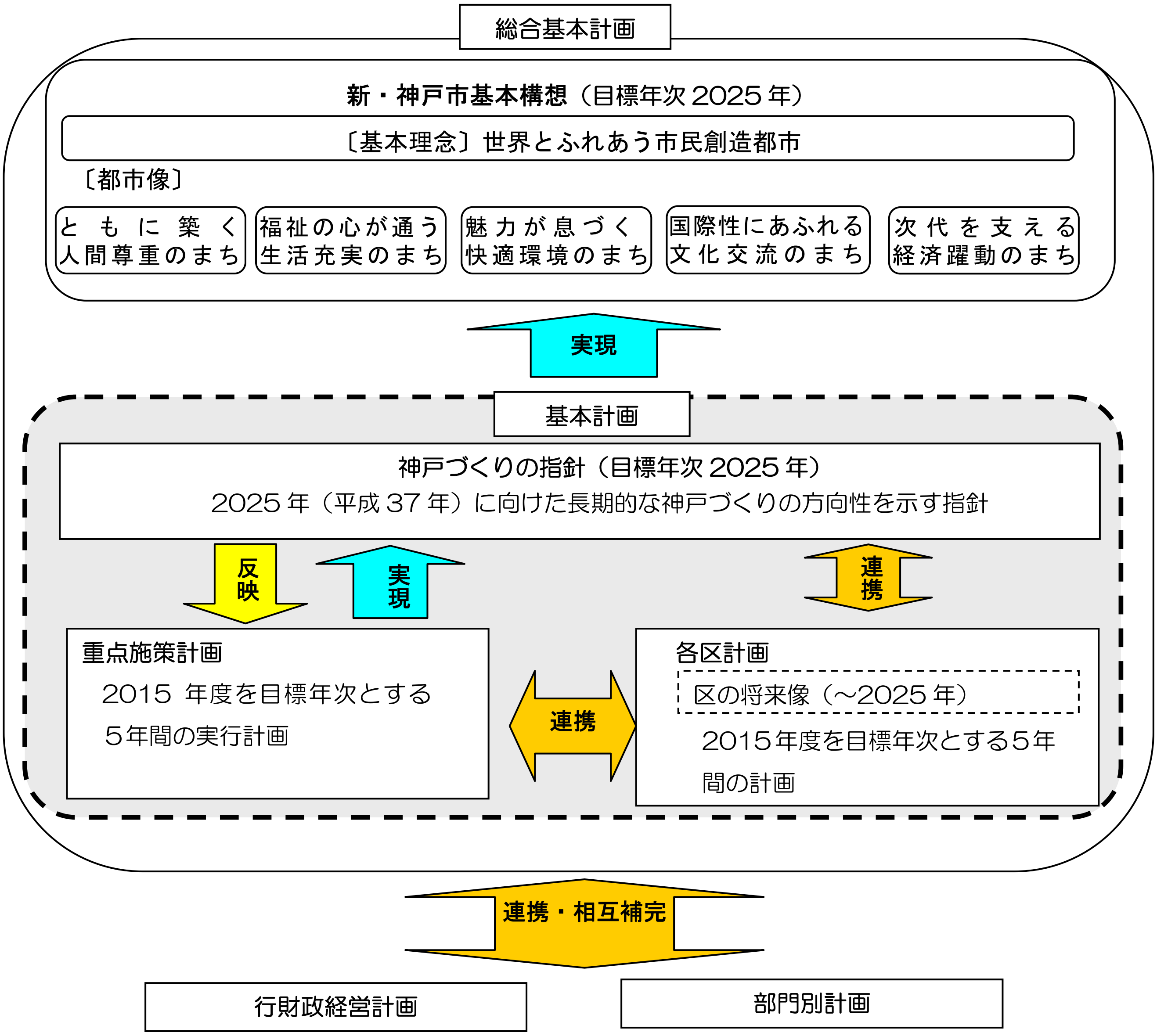
・世界的な都市間競争の中で、神戸が存在感を発揮し、国内外の人や企業から選ばれるまちであるため、「デザイン都市・神戸」の実現に向けた取り組みや、「知の創造拠点づくり（神戸医療産業都市構想・次世代スーパーコンピュータ」をさらに推進していく。

・神戸が魅力ある都市であるために、神戸の「顔」であり都市イメージの源泉である都心・ウォーターフロントの魅力に一層の磨きをかけ、さらなる活性化をめざしていく。

重点事業	主な新規・拡充ポイント
①創造的人材の集積・活躍の場づくり	・デザイン都市・神戸を担う人材の育成・集積の促進 ・生活デザインを軸とした地域社会貢献の促進 ・創造的な活動の評価・支援機能の充実 ・ユネスコ創造都市ネットワーク等による国内外への情報発信と交流 ・これらの取り組みの拠点としての「デザイン・クリエイティブ・センターKOBE」の拡充
②知の創造拠点づくり	・ 神戸医療産業都市構想の推進（企業・研究機関・大学のさらなる誘致推進、優秀な臨床医の集積による高度医療サービスの提供と新たな事業機会の創出、国際医療交流の推進、健康を楽しむまちづくりの推進） ・次世代スーパーコンピュータの利活用による地元企業支援、研究基盤の誘致、防災など市民福祉への貢献 ・関西圏全体での連携によるスーパークラスターの形成促進
③都心・ウォーターフロントの魅力向上	・ 三宮駅周辺の大改造の推進（歩行者動線、にぎわい空間、乗り換え利便性向上、商業・業務施設の集積促進、景観誘導） ・新港第１突堤の民間活力を活かした

	親水空間の整備 ・波止場町１丁目におけるオープン空間整備 ・　旧生糸検査所周辺のまちなみ形成 ・都心とウォーターフロントの回遊ネットワークの形成 ハーバーランドの活性化（煉瓦倉庫周辺整備、水際空間やガス燈通りなどのオープンスペースの有効活用、夜間景観の魅力向上）

《参考》計画概念図


総合基本計画
新・神戸市基本構想（目標年次 2025 年）
〔基本理念〕世界とふれあう市民創造都市
〔都市像〕
と も に 築 く 人間尊重のまち
福祉の心が通う 生活充実のまち
魅力が息づく 快適環境のまち
国際性にあふれる 文化交流のまち
次代を支える 経済躍動のまち
実現
基本計画
神戸づくりの指針（目標年次 2025 年）
2025 年（平成 37 年）に向けた長期的な神戸づくりの方向性を示す指針
反映
実現
連携
重点施策計画
2015 年度を目標年次とする
５年間の実行計画
連携
各区計画
区の将来像（～2025 年）
2015年度を目標年次とする5年間の計画
連携・相互補完
行財政経営計画
部門別計画